

ご自由にお取りください

結ぶ

徳島東部
12市町村

Vol.5

mu
su
bu



歴史のヒント

吉野川とともに[石井町]

定住自立圏取組情報

病児・病後児保育
広域利用推進事業

市町村特集

共にいきいき暮らす健康いたの21
～食と運動で健康な町に～

板野町
佐那河内村

ふるさと さなごうち
なつかしい風景に出会えるところ

ブランドのチカラ

藍住町新作物研究会[藍住町]
阿波之里[松茂町]
いろどり晩茶生産組合[上勝町]

クイズで商品ゲット

徳島東部 12市町村 結ぶ Vol.5
2014年9月発行 発行 徳島東部地域定住自立圏推進協議会事務局 〒770-8571 徳島県徳島市幸町2-5 徳島市企画政策局企画政策課内 ☎088-621-5085
編集・印刷 大瀧高速印刷 株式会社

人を結ぶ

特定非営利活動法人
子育て支援ネットワークとくしま 理事長

松崎 美穂子さん



子育てママが“ほっと”する場所を

Q 活動を始めたきっかけは?
結婚を機に、遠く奈良から徳島にやってきました。子どもが生まれ、知らない土地での初めての子育てでしたが、知り合いもなく、子育ての情報も今のようにはありませんでした。団地での二人の子育て、気が付けば、子どもに見せる笑顔も消えていて、「これじゃ、いけない」と思いました。親子がくつろげる空間が必要だと痛感しました。

Q 「すきっぷ」ではどのような活動をされていますか?
平成5年に「徳島子育てネットワークくすのき」を結成し、子育て支援のボランティア活動を始めました。その後、「子育て支援ネットワークとくしま」に名称を変更し、平成14年にNPO(非営利活動団体)法人を取得して、徳島市のかごや町商店街に「すきっぷ」の運営を徳島市より委託を受け始めました。この間、試行錯誤の連続でしたが、「すきっぷ」という活動拠点を得られたことは、とても幸運でした。

スタッフは全員母親で、保育士や幼稚園教諭、助産師、子育てアドバイザー、ベビーマッサージインストラクターなどいます。0～3歳児とその家族らが気軽に立ち寄って遊んだり、母親どうし子育て情報を交換したり、育児の相談ができる場を提供しています。商店街にこんな場所があるって、素敵ですよね。

Q 様々なイベントも開催されていますね?
「転勤族ママの日」「みつごちゃんDAY」「保健師さんの育児相談」「パパ講座」「ふたごちゃんDAY」「助産師さんのベビーデーやマタニティデー」などのイベントを毎月開催しています。どなたでも参加できるので、その立場を理解したり、先輩ママ・パパからアドバイスがもらえると好評です。詳しくは、「すきっぷ通信」などでお知らせしています。

また一昨年から、徳島県の事業で、家庭訪問型子育て支援もスタートしました。「待つ支援」から「届ける支援」へと拡大することで、外出しづらい、頼れる人が身近にいないといった母親らをサポートしています。

Q 生まれかわったら、どこに住みたいですか?
自然豊かな徳島かな。私は徳島に嫁ぐことになり、つながりのなかった土地での生活を今でも時々不思議に思います。
徳島で子どもを産み、子育てをすることで、たくさんのご縁と支えを頂きました。感謝の気持ちを、これから子育てする方にと、微力ではありますが、「徳島での子育てを楽しむ」お手伝いができればと思っています。
少しでもお役にたてれば幸いです。

次号予告

平成27年3月発行予定

- 市町村特集 石井町・上板町
- 定住自立圏取組情報
- ブランドのチカラ プレゼントが当たるクイズもあります。

冊子の設置場所

12市町村役場/徳島市立図書館/小松島みなと交流センター-kocolo/道の駅「ひなの里かつら」/いっきゅう茶屋/佐那の里/JR石井駅/神山温泉/松茂町歴史民族資料館/北島町立図書館/創世ホール/藍住町立図書館/あせび温泉/技の館 ほか



▲気軽に立ち寄れるアットホームな雰囲気



▲親子で楽しめるイベントを毎月開催



▲子育て情報もたくさんあります



▲「すきっぷ」のスタッフとともに



子育てほっとスペース すきっぷ
開館時間/10:00～16:00[利用無料]
休館日/毎週水曜日、第1・3日曜日(変更する場合あり)
所在地/徳島市籠屋町1丁目14番地(かごや町商店街内)
電話/088-626-5454
http://www.knet-tokushima.jp

「徳島東部地域定住自立圏」とは?「結ぶ」って?
徳島市を中心として周辺の11市町村と連携して「徳島東部地域定住自立圏」を形成し、12市町村が役割分担しながら連携・協力することで圏域全体の発展に向けたさまざまな取り組みを展開しています。本誌は徳島東部12市町村の住民の皆さんが「徳島東部地域定住自立圏」の魅力を知り、取り組みに参加することにより、市町村の枠組みを越えて、お互いが交流し結びつきを深める「=結ぶ」ことを目的として発行しています。

【参加市町村】
徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町



病児・病後児ルーム



クリニックでのお知らせ

徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの連携事業

病児・病後児保育 広域利用推進事業

国が掲げた地域振興策である「定住自立圏構想」のうち、生活機能の強化に係る分野において、安心して子育てができる環境の整備が求められています。このため、圏域内における就労形態の変化や女性の社会参加の拡大などにより、多様化する保育ニーズへの対応として、自治体の枠を越えた効果的な施策を推進しています。

子育て環境の充実策として、平成24年4月から「病児・病後児保育広域利用推進事業」を連携2市2町1村で始めました。平成26年3月末で実施している医療機関等7施設で合計3,545人の利用があり、平成26年4月からは徳島東部11市町村が連携することになりました。

この事業は、病児・病後児保育事業（概ね10歳未満のお子さんが病中や病気の回復期にあつて、かつ保護者の方が就労しているなどの理由で家庭保育ができない時に、一時的に預かる事業。）の広域利用により、圏域内の子育てサービス提供基盤の安定を図るものです。

利用された方からは？
田山院長・クリニックとの併設なので、医師・看護師・保育士が常駐しているので安心できると好評です。子どもは急に病状が悪化したり、とても不安定なためクリニックとの併設は保護者の方にとっては重要なポイントではないでしょうか。共働きや核家族化が進むな

この事業を実施した理由は？
田山院長…以前からクリニックに来院された方からのご要望はありました。全国的に見ても10年以上前から行っているクリニックもあります。徳島市からお話があった時点で良い機会だと思ひ、この事業に取り組みするために「病児保育所（ライイ）」を併設しました。

本事業の実施設の一つ、田山チャイルドクリニックの田山正伸院長に、お話を伺いました。



田山チャイルドクリニックの田山院長

か、共働きや核家族化が進むなか、今後ますます需要は増えていきます。参加市町村も増えて広報を繰り返すことによつて、かなり浸透してきたのではないのでしょうか。

今後の課題は？
田山院長…現在6人の受け入れ定員となっておりますが、利用される方はいつ何時来院されるか予想がつかないので、保育場所や対応人員の手に苦勞することがあります。必ず事前に連絡いただきたくです。今後はもっと多くの小児科や内科のある医療機関がこの事業に参加されたら、利用される方の利便性が広がるのではないのでしょうか。

病児保育は単に「子どもが病気の時に保護者に代わつて子どもの世話をすること」を意味しているわけではありません。健康であつても病気の時であつても、子どものトータルケアが保障される必要があるのです。

まず、お問い合わせください

実施施設	
徳島市	小松島市
● 藤岡クリニック Tel.088-622-0012	● 徳島赤十字乳児院 Tel.0885-32-0555
● 田山チャイルドクリニック Tel.088-633-2055	● 石井町
● 愛育小児科 Tel.088-612-7795	● 伊勢内科小児科 Tel.088-675-0535
● えもとこどもクリニック Tel.088-664-8580	● 監住町
● ひなたクリニック Tel.088-678-5461	● 富本小児科内科 Tel.088-678-2111
	● 北島町
	● 北島こどもクリニック（平成26年10月から実施予定）



田山院長は一般社団法人全国病児保育協議会の徳島支部長として、県内や全国の方々と意見交換や情報交換をされています。



田中家住宅

表門を入ると藍の製造に欠かせない広い庭があり、奥へ行くほど高い構造になっています。正面から見る限り敷地の高さは感じられませんが、いったん外に回るとその大きさ、広さが分かってきます。南北50m、東西40mで撫養石と青石で積み上げられた土台に主屋などの主要な建物がバランスよく配置されています。

石井町藍畑は吉野川南岸沿いに広がる地区です。現在のよな強固な堤防が築かれる前、吉野川は毎年、氾濫を繰り返して多くの被害をこの地区に与えてきました。反面、藍が好む土壌を作り出してもきました。藍作りは稲作が出来ないこととの代替であり、吉野川との共存の歴史でもありました。石井町藍畑にある田中家も吉野川の氾濫に苦しむ藍商のひとつでした。寛永（1624〜1643年）の頃に初代、播磨屋と右衛門が入植して以来、屋号を刃（かねきゆう）と呼び、代々「すくも」や藍玉、青藍を製造販売していました。現在の屋敷は三軒目で安政元年（1853年）頃より造成にかかり、明治20年（1887年）までの約30年の歳月をかけて完成しました。各建物は建設以来、大きな改造をされなまま保存されてきましたが、昭和51年2月に敷地とともに11棟の建物が重要文化財の指定を受け、同年11月より各建物の解体修理が行われ昭和56年6月に建築当初の姿に復元されました。

防災と防犯からみる田中家住宅

田中家の防災と防犯の一端を紹介しましたが知恵とアイデアは現在に通ずる貴重なヒントになると思われます。この機会に藍で一時代を築いた豪商を訪ねてみてはいかがでしょうか。



17代 当主 田中 誠さん

田中家住宅
名西郡石井町藍畑字高畑705
TEL.088-674-0707

石井町教育委員会
名西郡石井町高川原字高川原121-1
TEL.088-674-7505

- 見学/大人300円(説明あり500円) 子ども無料(説明あり200円)
- 公開日時/日曜・祝日 10:00~16:30(平日は要予約)



- 【屋根】** 葺き屋根の主屋は敷地内のどの建物より高く、万が一瓦根より上に水があがって来た時には、葺き屋根を切り離しそりに乗り避難できるようになっています。
- 【平型舟】** 藍納屋の軒先に吊られている平型舟は洪水で流された人の救助や、孤立した家に食料を運ぶために備えられていました。昔の助け合いの精神が垣間見えます。
- 【石垣】** 北西の角から南と東に広がっています。高いところは2mを越え段々、低くなっています。これは吉野川の氾濫した水の流れを拡散する役目があります。積み重ねた石と石の間隙はほとんどなく、過去に家を流された苦しい経験が緻密な石積みから伺えます。



- 【門の扉】** 門の両方を閉めても小さな扉から、出入り出来るようになっています。小さい扉を開けると鈴が大扉に響き、主屋に聞こえるようになっています。
- 【消火器】** 江戸時代の消火器でピストル型になっています。レバーを引くと粉末が飛び散り消火します。
- 【地震戸】** 玄関の引き戸は大きな戸のなかに小さな戸が作られ、もし地震で大きな戸が開かない場合でも小さな戸を開けて避難できるようになっています。

歴史のヒント
石井町
Hint of history

吉野川とともに 国指定重要文化財『田中家住宅』



ふるさととさなごうち
なつかしい風景に
出会えるところ

空き家情報活用制度の仕組み



佐那河内村の重点施策の中でも、定住促進と子育て支援は欠かせることができません。現在の人口は2600人ほどですが、国の研究機関によると、26年後の2040年には1400人になり、さらに、二人に一人が65歳以上の高齢者であると推計されています。人口対策は村にとって待ったなしの課題です。一方で、「自然豊かな農山村に移住したい」「田舎でゆっくり生活したい」など、移住を希望する方の需要が増えていることも事実です。

村役場でも、そんな要望に応えるため空き家情報活用制度「空き家bank」を平成18年に創設し、利用希望者と空き家所有者との橋渡しを行っています。本年7月末現在、空き家bankに登録されている利用

PICKUP

「さなごうちアウトクラブ」代表
彦上 亜依さん

現在、小学3年生～中学2年生の4人の子どもの子育て真っ最中。旧鴨島町出身。

小さい時から自分自身も自然にふれてきたので、結婚を機に村に来た時もごくごく普通でした。でも、やっぱり今の村の子らでも自然に触れ合う機会が減っていると気づき、村内の子育て中のお母さんら10人程と同クラブを立ち上げました。村には全国的にみても珍しい川の遊泳場「嵯峨川遊泳場」があります。遊泳禁止など危険なことはさせない風潮のなか、近隣の方や行政や学校が一緒になって守っています。これは、単に自然を体験するだけでなく、子ども自身に安全管理などを学びながら楽しむことができるんです。村はとてもこじんまりしているけど、行政と村民との距離が近いんですよ。



カヌー体験

園瀬川自然体験教室 8月20日

カヌー体験、魚取り名人講座、鮎しゃくり漁体験、環境指標生物採取(川の学習)、アウトドアクッキングなど今回のプログラムは地元の5つもの連携団体の協力を得て青少年育成佐那河内村民会議主催にて開催されました。村内外から約40人の参加があり、地域の自然環境や資源を

希望者(申請済)は60件になり、すでに1世帯2人の方がお住まいになっています。

しかしながら、現在全国の自治体でも同様の課題に対し定住促進事業が進行しており、本村としてはその差別化を図るため、村の特徴でもある自然を活かした地域活動を今まで以上に行っていかなければなりません。

再発見し交流やその関わりを多く取り入れました。村の魚取り名人が魚の生息する所や取り方を指南したり、園瀬川に棲む水生生物を採取し、その特徴や生態を学びました。これらの活動は中長期的な視野に立って、村の自然環境や資源を見つけ、伝承し地域の方との関わりや交流を推進し地域活動の活性化につなげていくものです。

食育・地産地消推進事業
板野町ふるさと味づくり研究会

板野町は澄んだ空気ときれいな水に恵まれ、とてもおいしい食べ物があるところです。土地で採れるおいしい野菜や旬の食べ物が四季を通じて豊富にあります。町では自分の体を作る食についてもっと興味を持ってもらいたい、食の大切さに気付いてもらいたいと思います。

板野町ふるさと味づくり研究会は平成2年8月、もつと地域の特産野菜を食べてもらいたい、と板野町のことを知ってもらいたいという思いから、町内の女性たちで立ち上げた地産地消グループです。町の特産品のれんこんや人参をふんだんに使ったれんこんクッキーやにんじんゼリー。また、ほうれん草などを使った米粉のシフォンケーキなど様々なお菓子を商品化しています。

また、食育活動の一環として「放課後子ども教室」の講師や「いろどりクッキング教室」などを実施しています。



にんじんゼリー

共にいきいき暮らす
健康いたの21
～食と運動で健康な町に～



**町制施行60周年記念事業
第22回町民ラジオ体操会
7月19日**

平成26年度は町制が施行されてから60周年を迎えます。記念事業の一つとして第22回町民ラジオ体操会を開催しました。町では皆さんの最も身近な運動、ラジオ体操による健康づくりを推進しています。平成4年よりスタートして今年で22回を迎えました。当日は早朝にもかかわらず子どもから高齢者の方まで約150人の参加者が、板野町田園パーク町民スポーツガーデンに集合し、朝のさわやかな空気を胸一杯に吸い込んで汗を流しました。

**あさんウォーキングフェスタ
inいたの11月16日開催**

昨年は、大会5周年記念を盛大に開催することができました。今年も、町制施行60周年記念事業の一環と位置付け、より皆さんに興味関心を抱いていただけるようなイベントにバージョンアップします。同フェスタは、「環境と健康を考える」をテーマに、板野町阿讃地区を中心にあさん山脈の自然を体いっぱい感じながら歩くウォーキング大会です。10kmいたのあさんコースの募集期間はすでに終了していますが、当日受付の4kmまめつちャコースはウォーキングのショートコースとしては最適です。

メイン会場となるあすたむら

あさんウォーキングフェスタinいたの受付事務局
お問い合わせ
あさんウォーキングフェスタinいたの受付事務局
電話088-672-7040

あさんウォーキングフェスタinいたの受付事務局
お問い合わせ
あさんウォーキングフェスタinいたの受付事務局
電話088-672-7040





クイズに答えて 「ブランドのちから」商品をゲット

正解者の中から抽選で11名様に、プレゼントが当たります。

問題 板野郡板野町は平成26年度

町制施行〇〇周年です。

(〇〇内の数字を入れてください) ※ヒントは3ページ本文にあります。

応募方法

官製はがきに、①クイズの答え、②プレゼントの希望の商品名、③郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号、④本誌「結ぶ」に対する感想や要望を、ご記入の上〒770-8571 徳島市幸町2-5 徳島市企画政策課内「結ぶ」プレゼント係へ平成26年12月15日(必着)までにお送りください。

(お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します)

【当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます】

編集雑記 Vol.5

ペンネーム ぼうさい君(勝浦町)

ペンネーム おでん(北島町)

待たなし

今年は、大雨の夏であった。度重なる大雨・洪水警報の発令、避難準備情報、避難勧告、避難指示と警戒情報が交錯する。

そんな中、住民はどうすればいいのか。戸惑いつつも夜とあってはどうしようもない。動けない。そんな不安な日が何度もあったことは、まだ記憶に新しい。

甚大な被害があった広島市の土砂災害、阿南市、那賀町での浸水被害。南海トラフ巨大地震も近い将来なのか?災害は突然やってくる。自然の猛威は予知できないことを教訓しよう。

防災・減災対策、当然急がねばならない。一方、行政対策にも限界がある。異常気象の勃発する昨今、警戒情報に慣れ行動が遅れることが一番の心配だ。身を守る早めの行動を!

今年は残念ながら、雨の中の開催となってしまった「ひょうたん夏祭り」。北島町の一大会も終わり、秋の気配がしてきました。

今年の秋は読書の秋か、食欲の秋か…。休日は町立図書館に向って本の世界に浸るのもよし。ギャラリーで芸術的な感性を高めるのもよし。食べ歩きも捨てがたい…(笑)思いがけずカロリーオーバーしてしまったり急いで考えるだけでわくわくしてしまったりもよし!

近々、町のホームページをわかりやすく、見やすく、探しやすいようにリニューアルする予定です。イベント情報や施設情報等々の町の最新情報をチェックしてみてください。また、ページを案内する北島町公式キャラクターも新しく登場予定なので要注目です☆最新情報をいち早く手に入れて、今年の秋を思いっきり楽しませよう!

表紙の写真



板野町ふるさと味づくり研究会 会長 新名純子さん(写真中央)

生粋の板野町人。二人の子育ても卒業し今は主人と母の三人暮らし。23人のスタッフに恵まれ、お互い意見を交わしながら町で収穫された農産物を加工しています。写真のにんじんゼリーは春に町で収穫されたものをペースト状にして一時保存。その時々を待ってゼリーに加工します。評判もなかなかGoodなんです。町のイベントなどに試食もしていただいています。これからも、もっと子どもたちに食の安全や大切さを伝えていきたいです。

Power of BRAND



いりどり晩茶生産組合 [上勝町]

食べる健康晩茶

深い緑と木々に覆われた上勝町生実「いりどり晩茶生産組合」はあります。上勝町は全国に知れた葉っぱビジネスの彩の他に、阿波晩茶でも有名です。いりどり晩茶生産組合は平成24年に起業した若い組合ですが、飲むお茶だけに限らず新しい商品を次々開発するなど意欲的に取り組んでいます。今年3月には晩茶を粉末にしてワカメなどと混ぜた「晩茶ふりかけ」(さけ味、かつお味の2種類)を

販売しています。原材料は鳴門の旨味の強い塩と、鳴門のワカメを晩茶とブレンドした親しみのある商品に仕上げられています。「徳島風味のお茶漬け」をコンセプトに、健康に良いとされる晩茶を、多くとれるように粉末にして食べるお茶を開発しました。売れ行きは上々でインターネットでの直接販売の他、阿波之里・徳島とくどくターミナル・あるでよ徳島・とくしまマルシェなどで販売しています。



いりどり晩茶生産組合

- 勝浦郡上勝町大字生実字山9-2
- TEL0885-46-0558
- http://www.iredori-bancha.com
- メール kamikatsu@iredori-bancha.com

PRESENT



晩茶ふりかけ
さけ、かつお各2個
(3名様)

Power of BRAND

ブランドのチカラ



阿波之里 [松茂町]

松茂美人の深い甘味と上品な口どけ

現在、徳島観光ステーション阿波之里は徳島市川内町に移転していますが、芋ようかん「月見か咲き」が誕生したのは松茂町でのことです。松茂町商工会が地元住民から挙がった町を代表する商品が欲しいとの意見に応え、県や町、JA松茂などと共同で商品化したものです。当初、松茂町内の和菓子屋で製造されていたものを阿波之里に移転後も引き継ぎ、自社店舗で製造・販売しています。

良質で甘味の深い「松茂美人」だけを使用した芋ようかんは、こだわりの逸品として徳島を訪れた観光客などに



徳島観光ステーション 阿波之里

- 徳島市川内町大松252番地4
- TEL088-666-2500
- FAX088-666-2501
- http://www.awanosato.com

PRESENT



芋ようかん 月見か咲き
1本入り
(5名様)



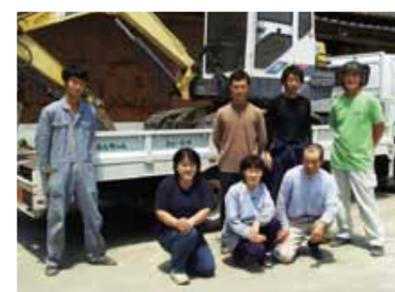
▲新作のトマト

藍住町新作物研究会 [藍住町]

新しい産地として意欲的に活動

藍住町を代表する農作物のひとつに春夏ニンジンがあり、かつて冬には数え切れないほどのニンジン栽培用トンネルが連なり、風物詩ともいえる光景が広がりました。そんな様子も徳島市に近くベッドタウンとして農地が宅地や商業地に転用されてきたこと、ニンジンの市場価格の低下が進んできたことで変わってきました。藍住町新作物研究会は、ニンジンだけに頼る農家経営

から脱却し、市場に出回っていない新しい野菜や、他産地にはない農産物を栽培するための情報交換や栽培技術向上のために平成13年に発足しました。現在の取り組みは核家族化に合わせたミニ大根、ミニちんげんさい、ミニかぼちゃなどのサイズの小さい野菜の栽培や、素材を生かしたジャムやドレッシング、切干大根などの加工品の製造・販売を行い経営の安定化に努めています。



▲あんちゃんふぁ〜むの安崎さんご家族と、農場で働く若手担い手の皆さん(後列3人)



▲藍住町新作物研究会 会長の安崎さん(右)と理事の坂野さん。

藍住町新作物研究会(会員42名)

- 板野郡藍住町奥野字矢上52-1 (藍住町役場 経済産業課内)
- TEL088-637-3120
- FAX088-637-3152
- http://shinsakumotu.com

PRESENT



大根ドレッシング・大根ジャム・切干大根などの詰合せ (3名様)

※商品が揃わないときは野菜詰合せに変わる場合があります。